

## 多様な授業形態・学修スタイルに対応するために、 高品質な映像システムで次世代の教育空間を創出。



### 順天堂大学様 さくらキャンパス

導入システム: 大学向け映像システム

導入時期: 2021年4月 導入地域: 関東

#### 課題:

新棟建設にあたって、様々な授業形式に対応した使いやすい教室を整備したい

#### 解決策:

視認性の高いDLP®プロジェクターや液晶ディスプレイで、どの席からも見やすい良質な学修環境を構築。次世代の映像表示システムにより多様な授業形式に対応

“ 今回のシステム導入によって授業の幅が広がり、より多くの学びを学生たちに届けることができるようになりました。 ”

順天堂大学 さくらキャンパス 様

※所属は納入時のものです。

## 背景

### 様々な授業に対応可能な新棟を建設

順天堂大学様のスポーツ健康科学部の学生が学ぶ「さくらキャンパス」は1988年に誕生しました。当初、1学年の定員は約140名でしたが、その人気から年々学生数が増加。新学期より約600名の定員となったため教室数が不足していました。また、これまでの教室は講義型授業を行う用途でつくられていたため、アクティブラーニング型授業がやりづらいという課題もありました。そこで2021年4月、さくらキャンパスの新たなシンボルとして多様な授業に対応可能な新棟を建設。8階建ての巨大な建物に大小様々な教室を整備し、それぞれに最新のAVシステムを導入しました。

## 導入した理由

### 授業の理解度を高める、高精細なプロジェクターやディスプレイ

新棟建設にあたり、3階から5階の8教室全てにパナソニックのシステムが導入されました。プロジェクターは高画質で耐久性に優れたDLP®方式を採用。教室の規模に合わせて様々なサイズの液晶ディスプレイも設置し、授業の理解度を高める環境を追求しました。さくらキャンパス事務部庶務課の中澤英之様は、「他社とも比較検討した結果、パナソニックさんのシステムは我々の求めている授業方式にマッチしていたので採用しました。大講義室のプロジェクターにはこだわりましたが、本当に一番後ろの席からも見やすく、その鮮明さに驚きました」と語ります。

### 国内屈指の「健康総合大学」

1838年に日本最古の西洋医学塾として創立した順天堂大学様。1951年にはスポーツ健康科学部(当時の名称は体育学部)を開設し、以来70年の長い歴史の中で医学とスポーツの両面から健康を支える「健康総合大学」として多くの人材を育成しています。

- 所在地: 千葉県印西市平賀学園台1-1(さくらキャンパス)
- URL <https://www.juntendo.ac.jp/hss/>



▲順天堂大学様のさくらキャンパスに誕生した新棟



## 導入後の効果

### どの席からも見やすく、ハイブリッド授業にも対応する大講義室

医療系の学部を多く持つ順天堂大学様では、筋肉や血液など人体のありのままの状態を見て学べることを大切にしているため、以前からDLP®プロジェクターの高い色再現性を評価していました。今回の新棟建設においても、学生たちへ最良の環境を提供するために全教室にDLP®プロジェクターを配備。座席数740席の大講義室では20,000 lmの高輝度な3チップDLP®プロジェクターを使い、200型のブラックスクリーンへ投写することで、惹き込まれるほどの視認性を確保しました。また、教室の左右には映り込みの少ない液晶ディスプレイを8台設置し、どの角度からも見やすい環境を構築しました。近年多くなったオンライン授業と対面授業のハイブリッドにおいても、プロジェクターの投写映像が高精細のため、わざわざ配信画面で資料を共有することなく、授業全体を撮影した映像を配信するだけでスクリーンに映し出された資料もはっきりと確認できます。これにより、自宅を受講する学生に対面授業を受けているかのような臨場感を提供できるようになりました。和氣秀文教授は、「ハイブリッド授業は、どうしてもPCの画面表示に気を取られてしまったりPCに向かって話してしまったりと、対面授業に参加してくれている学生に伝わりづらくなるという課題がありました。この教室なら授業全体を映して配信するだけで良いので、目の前の学生へもオンラインで受講する学生へも平等に質の高い授業を届けられます」と語ります。

### コンテンツを瞬時に共有し、活発な授業を生み出す実習室

座席数100~200席の実習室には、PCに挿してボタンを押すだけで画面を共有できるワイヤレスプレゼンテーションシステムPressITを導入。これまで教員はプロジェクターのケーブルが届く位置から動くことができませんでしたが、ワイヤレスで資料を転送できるようになったことで配線を気にすることなく講義ができるようになりました。ドライバーのインストールも不要なため、ゲスト講師や学生の発表時にもすぐに使用可能です。



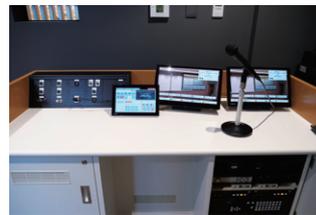
▲ブラックスクリーンを左右2面設置し、3チップDLP®レーザープロジェクターPT-RZ21KJを使って投写する大講義室。音響にもこだわり、高音質なRAMSAアレイスピーカーと天井スピーカーを導入している



▲大講義室の天井に設置された3チップDLP®レーザープロジェクターPT-RZ21KJ



▲大講義室に8台設置された65型4K UHD液晶ディスプレイTH-65EQ1J



▲大講義室のAV操作卓。映像・音声の切り替えや、ビデオ会議システム「HDコム」を使った授業の配信などを一括で操作可能



▲1チップDLP®レーザープロジェクターPT-RZ690JLWを2台と55型フルハイビジョン液晶ディスプレイTH-55SF2Jが6台設置された実習室

## お客様の声

### 授業の幅が広がり、学びが深まる教室が完成

機器選定時から納入まで、パナソニックさんには何度も足を運んでいただき、我々の思いをくみ取った改善提案をしていただいたことで、今までのさくらキャンパスになかった様々な機能を整備することができました。このシステムにより、授業の幅がどんどん広がり、より多くの学びを学生たちに届けることができると思います。新棟に沢山の学生が集い、学ぶ姿を見ることを楽しみにしています。



順天堂大学大学院  
スポーツ健康科学研究科 生理学研究室  
教授 博士(医学)  
和氣 秀文 様(写真左)

順天堂大学 さくらキャンパス事務部庶務課  
中澤 英之 様(写真右)

※所属は納入時のものです。

## 納入機器

- 3チップDLP®レーザープロジェクター PT-RZ21KJ ×2台
- 1チップDLP®レーザープロジェクター PT-RZ690JLW ×6台
- 1チップDLP®レーザープロジェクター PT-FRZ50J ×3台
- 65v型4K UHD液晶ディスプレイ TH-65EQ1J ×8台
- 55v型フルハイビジョン液晶ディスプレイ TH-55SF2J ×21台
- 98v型4K UHD液晶ディスプレイ TH-98SQ1J ×1台
- 49v型4K UHD液晶ディスプレイ TH-49SQ1J ×1台
- ワイヤレスプレゼンテーションシステムPressIT TY-WPS1 ×2セット
- ワイヤレスプレゼンテーションシステムPressIT TY-WP2B1 ×2セット
- RAMSA屋内施設向けアレイスピーカー WS-LA208 ×16台
- RAMSA天井埋込スピーカー (12 cm) WS-A22T ×48台
- HDインテグレートドカメラ AW-HE75W ×11台
- 1.9 GHz帯デジタルワイヤレスマイクシステム ×8式
- ビデオ会議システムHDコム ×4式



▲実習室に導入されたワイヤレスプレゼンテーションシステムPressIT。PCに挿してボタンを押すだけで、PC画面をプロジェクターやディスプレイに表示。コンパクト設計で別の教室へも持ち出して使用可能



▲1チップDLP®レーザープロジェクターPT-FRZ50Jが設置された座席数70席の教室



▲エントランスのサイズは98インチの巨大な液晶ディスプレイTH-98SQ1Jを使用

■納入会社 パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

■発行 パナソニック株式会社  
コネクティッドソリューションズ社  
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

その他の納入事例に  
関しては、ホームページを  
ご覧ください。

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>  
<https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/projector>

